

令和7年度における温室効果ガス等の排出の削減に
配慮した契約の締結実績の概要

令和8年5月12日
国立大学法人宮崎大学

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、令和7年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1. 令和7年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成19年12月7日 令和5年2月24日変更閣議決定。以下「基本方針」という。）に基づき、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約（以下「環境配慮契約」という。）を実施した。

2. 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている①電気の供給を受ける契約、②自動車の購入及び賃貸借に係る契約、③船舶の調達に係る契約、④-1建築物の設計に関する契約、④-2建築物の維持管理に関する契約、④-3建築物の改修に係る契約、⑤産業廃棄物の処理に係る契約のうち、①、④-1及び⑤について以下のとおり環境配慮契約がなされた。

① 電気の供給を受ける契約

【清武キャンパス】

契約期間	令和7年8月1日～令和8年7月31日
契約電力	3,700 kW
予定使用電力量	17,874,336kWh/年
契約方式	事業者の環境配慮の取組状況により入札資格を制限する一般競争入札（裾切り方式） <small>（注）</small>
入札申込者	9者
落札者	バンブーパワートレーディング株式会社

(注)当該入札の申込者のうち、二酸化炭素排出係数、未利用エネルギー活用状況、再生可能エネルギー導入状況及び省エネに係る情報提供、簡易的DRの取組、地域における再エネの創出・利用の取組状況に係る数値をそれぞれ点数化し、その合計が基準以上である者の中から、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とするもの。

【宮崎大学で使用する電気（高圧）】

契約期間	令和7年8月1日～令和8年7月31日
契約電力	①木花キャンパス 協議制 1,890 kW ②附属小・中学校 実量性 175 kW ③住吉フィールド 実量性 91 kW ④田野病院 実量性 254 kW
予定使用電力量	①6,594,880 ②357,105 ③265,903 ④689,862kWh/年
契約方式	事業者の環境配慮の取組状況により入札資格を制限する一般競争入札（裾切り方式） <small>(注)</small>
入札申込者	9者
落札者	王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社

(注)当該入札の申込者のうち、二酸化炭素排出係数、未利用エネルギー活用状況、再生可能エネルギー導入状況及び省エネに関する情報提供、簡易的DRの取組、地域における再エネの創出・利用の取組状況に係る数値をそれぞれ点数化し、その合計が基準以上である者の中から、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とするもの。

④-1 建築物の設計に関する契約

より効率的なエネルギー負荷（環境負荷）低減のための建築的手法についての技術提案を求め、総合的に勘案してもっとも優れた技術提案を行った者を特定する環境配慮型プロポーザル方式を実施した（2件）。

⑤ 産業廃棄物の処理に係る契約

産業廃棄物の収集運搬及び処分業務に関して、環境配慮契約方式（裾切り方式）による契約を締結した（1件）。

なお、②自動車の購入及び賃貸借に係る契約、③船舶の調達に係る契約、④-2 建築物の維持管理に関する契約、④-2 建築物の維持管理に係る契約、④-3 建築物の改修に係る契約に係る契約については該当がなかった。